

# たあとるほいくえん

## 【令和3年度 自己評価への取り組みと状況報告】

1年間ありがとうございました。評価の中で「～をして、子どものための保育にしたい」といった文面があり、嬉しく思うとともに、そういう想いで保育に充たることが大切であると感じました。  
令和4年度も楽しく保育していきましょう。

### 保育の計画性

たあとるほいくえんの保育理念・方針を理解し、達成できるように計画を立てている。	3.8
子ども一人ひとりの発達過程や興味を把握し、計画を立てている。(月案・個人計画)	3.6
保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っている。	3.6
評価結果をもとに保育の改善に努めている。	3.9
楽しい雰囲気の中で、安定してあそべる環境構成を考えている。	4
配慮の必要な子どもには、その子に応じた計画を立てている。	4

良いところ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意識的・自覚的な振り返りを行い、評価と改善に結びつける機会を多く持つことができる</li> <li>・あまり難しいことはせず、簡単なことを楽しくできるように心掛けた</li> <li>・1年間の行事計画などに応じて計画的に保育を進められる</li> <li>・配慮の必要な子どもとの関わり方を職員間で共有し、無理なく集団にいれるよう対応した</li> <li>・子どもたちの成長に応じた保育内容を常に考慮している</li> <li>・1人1人とじっくり関わる中で個々の伸びしろを増やす事ができた</li> <li>・毎日子どもと向き合い、子どもの成長を見守った</li> <li>・一人一人にあった対応を心がけている</li> <li>・保育方針を理解することで日々計画をたてて援助支援ができたと思う</li> </ul>
改善点(策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反省事項が出たら明日はどうかを皆で案を出し合って終わる事が難しい。研修などで共有するか？</li> <li>・子どものできる事が増えてきたとき玩具で遊ぶだけでなく様々なことをとり入れた週案を考えればよかった</li> <li>・保育所保育指針に基づくことができていなかった</li> <li>・配慮が必要な子どもの配慮の仕方が分からないときや対応に困ることがあった。手探り状態の保育になってしまったこともあったので細かい計画をたてておけばよかった</li> <li>・4, 5歳児に対して発達に応じた遊びが不足していたので担任との連携を密にする必要があった</li> <li>・コロナ禍で限られた時間を思いっきり戸外遊びで楽しめるよう配慮していく</li> <li>・限られた玩具をどのように展開できるかももう少し考えることができたと思う</li> <li>・子どもをまとめる力があまりないので頑張っていきたい</li> <li>・楽しい雰囲気の中での環境構成をもっと工夫したい</li> <li>・子どもの興味、関心に合わせて様々な活動を考え発達に沿って適切に計画していく</li> </ul>

## 子どもとの触れ合い・対応

一人ひとりの人権を大切に関わっている。	4.2
一人ひとりの思いを受け止め、思いをできるだけ実現してあげようとしている。	3.4
一人ひとりの目標と課題を明確にし、見通しを持って関わっている。	3.6
一人ひとりの子どもの話を同じ目線で聞き、丁寧に関わっている。	4.1
子どもの手本となる言葉使いや挨拶が出来ている。	3.7
子どもの名前は呼びすてにしていない。	4.5
すべての子どもと公平に関わっている。	4.7
オムツ交換・お着替え時は、優しく声掛けし、スキンシップをとっている。	4.2
必要以上に「禁止・命令・行動を急かす・自信を失わせる言葉や態度をしていないか。	3.8
子どもに対する適切な言葉遣いができている。	3.3

良いところ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当クラス他クラス全ての子どもと密に関わりが持てる</li> <li>・過剰に手伝わず子どもが成長できるよう関わった</li> <li>・やりなさいではなく、できるかな？してごらん？といった言葉がけをするようにした</li> <li>・子どもたちに寄り添って接するよう心がけている</li> <li>・少人数保育で一人一人の成長をたくさん感じられる</li> <li>・一人ひとりの子どもの性格を知り、その子に合った対応を常に心かけている</li> <li>・子どもの目を見て丁寧な言葉使いで理解できているかを確認しながら話をする</li> <li>・丁寧な言葉使いを意識し接することができた</li> <li>・一人一人の子どもに自分から積極的に声掛けを行ったり、子どもの良いところを探して褒めるようにしていた</li> <li>・子どもの目線になって話をする</li> <li>・名前など呼び捨てにはせずにお家での呼び方で名前を呼んでいた</li> <li>・複数担任で子どもの成長を報告し、共有でき一人ひとりに合った関わりができたと思う</li> </ul>
-------	--

改善点(策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉使いに気をつける</li> <li>・子どもをあだ名で呼んでしまったりしているので、気をつけようと思う。保育者の言動は真似をしてしまうのでお手本になるようにする</li> <li>・正しい日本語を学ぶ</li> <li>・自分の思いを伝えることを遠慮してしまう子どもに対してこちらから働きかけるよう務める</li> <li>・子どもたち自身から挨拶をしていけるようにもっと自分自身もいろいろな方へ挨拶をしていきたい</li> <li>・保育者と関わりを持とうとする子どもだけではなく、全ての子どもとじっくり関わる機会を持つようにしたい</li> <li>・早口になりがちなのでゆっくりと話をするよう心がける</li> <li>・早い子どもに合わせようとするときが少し合ったので個々のペースを大切にしていきたい</li> <li>・子どもが集団から外れたり、みんなと同じ事ができなかつたりした際に、禁止する言葉を使ってしまうことがあったので前向きな気持ちで取り組めるような言葉を使うように心掛けたい</li> <li>・子どもが興味を示すような遊びを増やす事やレパートリーを多くしていきたい</li> <li>・子どもの気持ちを受け止めて一人ひとりとの関わりを大切にしたい</li> <li>・子どもの発達段階や興味を理解し、時期に合わせて遊びこめる活動を展開しながら丁寧に関わっていく</li> </ul>
--------	---

## 保護者への対応

園の保育内容や子どもの姿がわかるような発信をしている。	4
子育てパートナーとして、保護者の子育ての大変さや悩みを理解している。	3.7
送迎時に子どもの姿(ケガ含む)を必ず伝えている。	4.3
丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心がけている。	4.2
親しくなったからといって、ため口や友達同士のよう話し方、上から目線で会話をしていないか。	4.5
すべての保護者と公平に関わっている。	4.4
保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している。	4.1
良いところ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭にある植物に子どもたちとお水をあげ大切に育てている</li> <li>・地域に密着していることで近隣の人々から声をかけてもらえる</li> <li>・子どもたちもお散歩や園庭遊びが大好きなので天気の良い日はなるべく取り入れるようにした</li> <li>・園庭遊びの際に子どもたちに生き物や植物にも目を向けるよう働きかけている</li> <li>・園庭に植物、花があり、季節を感じることもできた</li> <li>・戸外遊びを十分にいき、身体を思い切り動かして発散できるようにした</li> <li>・子どもの自然に対する発見を受け止め皆で共感し学びに繋げる</li> <li>・お散歩に行ったときなど子どもの手本になるように元気よく地域の方に挨拶をするよう心掛けた</li> <li>・散歩に行った際には季節の花や生きものを子どもたちと見て共有したり園庭で育てている野菜の生長と一緒に楽しむことができた</li> <li>・散歩中、子どもの靴が脱げかけていないか気にかける</li> <li>・時間を見つけて園庭に行ったりすることができた</li> <li>・コロナ禍でなかなか外出できない中、外出できる期間はたくさん活動できていた</li> </ul>
改善点(策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍での戸外遊びについて</li> <li>・近隣の方への挨拶など子ども達のお手本となれるように心がける</li> <li>・植物や花の名前等をもっと覚えて子ども達に紹介できるようになりたい</li> <li>・食育を通して野菜などを植えたが、収穫まで上手く育てることができなかったの知識を見につけたいと思う</li> <li>・保育者が積極的に挨拶をすることで子ども達が自然に挨拶の大切さを見につけていけるようにしたい</li> <li>・子どもが挨拶できた時に褒めるだけではなく次に繋がるように生活の中でも挨拶を大切にしていきたい</li> <li>・自分自身、虫が苦手で一歩引いてしまうことがあったのもう少し積極的に関わり生き物の大切さを子ども達に伝えられるようにする</li> <li>・散歩中、ゴミが落ちていたり子どもの害となるものが落ちていなか目を配る</li> <li>・生き物や植物を散歩などの際に見つけていきたい</li> <li>・これからも適度に戸外遊びを取り入れて自然、社会との関わりを持って行きたい</li> </ul>

### 自然や社会との関わり(散歩・戸外あそび)

適度に園庭やお散歩に出掛けている。	4.2
生き物や植物を大切にしている。	4.4
近隣地域の人、来園者に明るく挨拶ができています。	4.1

<p>良いところ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの保護者と丁寧なかかわりが出来る</li> <li>・保育園での出来事はできるだけ詳しく連絡ノートで伝えるようにしている</li> <li>・時々、登園時に対応する程度であるが常に笑顔で話しやすい雰囲気を作るように心がけている</li> <li>・送迎時、保護者の方とコミュニケーションをとれることが多かった</li> <li>・送迎時は子どもの話を共感するなど会話をし、コミュニケーションを図り、信頼関係を築けるようにした</li> <li>・送迎は明るく笑顔で対応している</li> <li>・保護者の気持ちに共感し、保護者野方が前向きに考えられるように言葉を選び、接することができた</li> <li>・無遅刻・無欠席を心がけた</li> <li>・保護者との関わりはほとんどなかったが朝の送迎時に関わった際には明るく挨拶し、丁寧な言葉使いで話すよう心掛けた</li> <li>・子どもの様子を見ながら成長を感じたことなどを保護者に伝えるようにした</li> </ul>
<p>改善点(策)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・降園時間が集中したときの反応について</li> <li>・夕方のお迎えラッシュ時に保育者が手薄になってしまうときがあるためうまく連携できるようにする</li> <li>・怪我を伝える際の伝え方を気をつける</li> <li>・ほけんだよりを通じて子どもの心身についての悩みに対応していきたい</li> <li>・保護者の家庭での悩みや関わりについて相談を受けたときにその気持ちを受け止め解決策を見つけていけるようもっと専門知識を身につけたい</li> <li>・保護者の話に共感できないことがあり、保育者としてではなく個人の感情で伝えてしまうことがあった</li> <li>・その日の子ども達の様子を送迎時に可能な限り伝えて安心して預けてもらえるようにする</li> <li>・苦手なピアノをうまくひけるようにしていきたい</li> <li>・保護者の気持ち(日々の大変さ)を理解することが出来た</li> <li>・保護者から子どもの体調などのお伝えがあった際、あいまいに聞いてしまったことがあったので責任感を持って聞くようにする</li> <li>・一人ひとりの保護者と平等に関わり、丁寧な対応を心掛けていく</li> </ul>

### 保育士としての能力(良識・適正)及び態度(姿勢)

園内・園外研修に積極的に参加している。	3.1
自らの保育を振り返り、第三者の意見を聞きにしている。	3.1
自らの保育を振り返り、第三者の意見を取り入れている。	4
自身の保育を振り返り評価反省を行い、次の保育に生かしている。	3.7
まだ、自分にできることはないか、協力できることはないか自ら声をかけている。	4.2
自己の体調を管理し、他職員に迷惑をかけないように努めた。	3.9
子どもの事、クラスの出来事、保護者からの苦情(相談)等、必要なことは、	4.2
施設長(管理者)や主任に「報告・連絡・相談」している。	4
園の消耗品や教材は節約して使っている。	4
職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らしていないか。	4.6
他の保育士の意見を尊重できている。	4.1
提出物を期限内に提出できている。	4.1

<p>良いところ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の保育士の考えを聞き、意見が重なった場合でも調和できるよう努めている</li> <li>・保育に関する気づきなどを意識化、明確化したあと共有しやすい環境である</li> <li>・看護師との視点で気づいた事があれば保育士に声を掛けるようにしている</li> <li>・自分で出来ない所は他の保育士が手伝ってくださったりいつも助けて頂いている</li>   <li>・子どもや保護者に関する事など、他の職員と共有し全員が同じ対応をとれるよう心掛けた</li> <li>・子ども達の好きなことや興味のある物を日々模索し保育に取り入れていくことで探究心を育む</li> <li>・保育での反省点を次にいかすことが出来た</li> <li>・1日の終わりにその日の子ども達との関わりを振り返り上手い出来ないところを反省し改善策を考えるようにしていたところ</li> <li>・苦手なことをできるだけ頑張った</li> <li>・研修に参加することができた</li> <li>・他職員からの助言などを取り入れ保育に生かせることができたと思う</li> </ul>
<p>改善点(策)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ティッシュやペーパーを使いすぎない</li> <li>・改善の方針や目標と具体的な手立て、保育において大切にしている事を連携して、保育に取り入れていくことが難しい</li> <li>・園外研修へいくことができなかったなので必要な内容があれば積極的にいこうと思う</li> <li>・園内研修に参加しないときは積極的に園内研修報告書を見るようにする</li> <li>・園外研修に参加できていなかった</li> <li>・保育士の方針に添いながら周りの状況を見つつ、補助ができるよう努めたい</li> <li>・コロナ禍ということもあり、園外研修へほとんど参加できていないので次年度は積極的に参加しようと思う</li> <li>・園外研修にあまりいくことが出来なかったので月に1度はいきたい</li> <li>・自分の考えや意見だけではなく、周りの保育者の意見も参考にし、よりよい保育ができるようにする</li> <li>・自分一人で反省して改善策を見つけるだけでなく、他の先生に相談したり、意見を聞いたりして次に活かせるようにしていく</li> <li>・分からないことがあればすぐにきくようにする</li> <li>・保育を振り返って意見を聞いて次の保育に活かしたい</li> <li>・自己の体調管理に気をつけながら保育に努め、今年度は研修にも参加できるようにしていきたい</li> </ul>

### 安全面及び衛生面

給食及び間食を提供の際は、アレルギー食の配慮や工夫がされている。	4.3
施設設備や園庭、お散歩道中の危険箇所を把握し、安全点検を行っている。	3.9
常に危険を予知して保育に取り組んでいる。	3.8
危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制ができている。	3.8
保育室の換気、温度・湿度に配慮して保育している。	4.1
子どもの健康状態やケガを記録し、職員間で把握できている。	3.9

<p>良いところ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で注意することが多い中、保育室内を安全に保ち、保育できていたと思う</li> <li>・アレルギー食の際、気をつけることができた</li> <li>・保育室や園庭の危険な場所を把握し、子ども達が触れたりいったりしないように声かけをおこなっていた</li>   <li>・室温や外の気温などに応じて子どもの衣服を調節できた</li> <li>・手洗い、消毒、換気を徹底して保育をしている</li> <li>・常に安心、安全をきをつけています</li> <li>・室内の環境や戸外へ出たときの遊び方を工夫することでおおきな怪我もなく安全に過ごす事ができた</li> <li>・コロナの感染が増えたときも感染対策を保育者同士で共有したり衛生面に留意できた</li> <li>・コロナウイルス感染予防も含め、子ども達の健康観察を行うように努めた。遊びや活動の際に怪我や事故を防げるように気になることは声を掛けるよう努めた</li> <li>・壊れた物はすぐに直すよう心がけている</li> <li>・常に職員が顔を合わせるので周知しやすい</li> </ul>
<p>改善点(策)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々子ども達の健康状態を把握し適度な温度・湿度の調節を行う</li> <li>・今後も皆によるこんでもらえるように頑張ります</li> <li>・室内の色々な箇所、玩具の消毒などこまめに行い、引き続き対策を考えたい</li> <li>・玩具の室内の消毒をこまめにしていけるよう工夫したい</li> <li>・怪我、病気などの緊急時の対応についてまとめる</li> <li>・ヒヤリハットの活用について</li> <li>・湿度の調整がとても難しい為、こまめに%数を見て対応出来るようにしたい</li> <li>・ヒヤリハットを周知する</li> <li>・子ども達が楽しめるような遊びをかんがえていく</li> <li>・アレルギーの子どもはいなかったがアレルギー食についても考えていきたい</li> <li>・危険を予知して保育をできるようにしていきたい</li> <li>・地震や火災などが起こった際の対応の仕方を具体的にきいておき、しっかりと理解しいざというときに動けるようにする</li> <li>・子どもの健康状態など職員間でしっかりと報告することで把握していきたい</li> </ul>

|